

対津波機能について、目標と現有のギャップを解消するため

個別の施設について、最も合理的な対策を立案

施設運用管理上の対策(ソフト)

- ・安全な避難場所の選定
- ・代替拠点の確保
など

必要に
応じ

施設整備上の対策(ハード)

- (改修)
- ・上階への重要室等配置
- ・構造の耐浪性確保
- ・止水板等の設置
- (建て替え等)
- ・現地建て替え
- ・移転新築
など

各機関において
可及的速やかに実施されるべき

ファシリティマネジメントの視点からの検討
(官署の入れ替えなどを含めて検討)

被災の可能性、想定される被害の程度に応じた、計画的な実施が必要

※レベル1津波対策は海岸保全施設等の整備状況を踏まえ、当面の対策としての実施を検討

※津波に対する防災機能の確実性を高めるための対策を継続的に検討